

2026年度新規採用予定者内定式について

2025年10月1日

公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は2025年10月1日（水）10時00分から、国立研究所において、2026年度新規採用予定者内定式を行いました。

内定式では、渡辺郁夫理事長が新規採用予定者17名に内定通知書を渡しました。



写真 内定通知書を受け取る内定者

理事長挨拶

本日、17人の皆さんに鉄道総研への内定を通知できたことをうれしく思います。

さて、皆さんが来年4月から研究開発などの対象として取り組む「鉄道」は、利用するお客様の利用形態の変化や人口減少などの影響を受け、今大きく変わっています。また、激甚化する自然災害対策、少子高齢化や働き方改革に伴うさらなる労働生産性向上の要請、2050年カーボンニュートラル実現等、鉄道を取り巻く課題はたくさんあります。

このような環境下において鉄道の維持・発展のためキーとなるのは「技術」です。私たち鉄道総研は、これらの課題解決のため、革新的な研究開発を通じて、全力で取り組んでいます。鉄道総研では今年度、これから5年間の基本計画RESEARCH2030がスタートしました。「持続可能な鉄道システムの創造」を掲げており、来年の4月からは皆さんと力を合わせ、さらに加速していきたいと考えています。

鉄道総研は、鉄道技術の基礎から応用にわたる、幅広い技術分野を扱う研究所です。研究にじっくりと取り組める環境があり、また、鉄道の将来に直接的に貢献でき、且つそれを実感できる魅力もあります。皆さん方が研究開発に取り組んでいくうえで、働きやすい環境の整備も進めているところです。この鉄道総研において、皆さんが「夢」や「目標」の達成に向けて、

伸び伸びと活躍されることを期待します。

皆さんには3つのことをお願いしたいと思います。

まず1つ目は、修士・博士論文などの仕上げに全力で取り組むとともに、皆さんの専門分野の基礎をしっかりと身に付けて頂きたいと思います。2つ目は、大学での研究、あるいは日常生活においても、AI等のデジタル技術による革新や、地球温暖化対策のためのグリーントランスフォーメーションといった視点を常に意識して頂きたいと思います。そして世界の大きな流れ、方向性にも目を向けて欲しいと思います。そして3つ目は、鉄道を旅客として利用する際に、あるいは鉄道に関するニュース等に接した際に、技術的な課題や改善できることはないか、そのために自分はどんな貢献ができるか、今から意識するようにしてほしいと思います。

鉄道総研は皆さんの若い力と感性を必要としています。来年の4月から、皆さんとともに仕事ができることを楽しみにしています。



写真 挨拶する渡辺理事長